

関西の景気トピックス【ホテル稼働率（25年2月）】

- 25年2月の宿泊旅行統計調査（観光庁）によると、ホテルや旅館の客室稼働率は概ね好調な推移が続いている。特に大阪は、直近の25年2月こそコロナ前比（19年比）でマイナスとなったものの、昨年10月以降はプラス傾向が続いている。
- ホテル・旅館の利用を支えているのは主に訪日客であり、結果として、延べ宿泊者数に占める訪日客の比率は上昇傾向にある。東京、大阪ともに直近はコロナ前を上回る推移となる中、特に東京の水準は高く、50%を超える動きが続いている。
- 一方、訪日客が増加を続ける中、国内客の動きは基本的に芳しくない。延べ宿泊者数のコロナ前比（19年比）について、国内客、訪日客の動きをみると、東京、大阪ともに両者の動きには大きな格差がみられ、東京、大阪ともに訪日客がコロナ前を大きく上回る中、国内客はコロナ前を下回る月もみられる。一般的にホテル需要は好調とされるが、基本的には訪日客の需要に支えられたものであり、国内客の需要は決して強くないといえよう。

